

## 平成 29 年 1 月総務企画委員会 議事概要

H29. 2. 6 作成

日 時：平成 29 年 1 月 24 日（火） 18：00～19：30

会 場：建設会館 4 階 建設振興基金会議室

出 席：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員 長) 芝 京子 (副委員長) 山成 芳直

(委 員) 天神 正志、伊藤 誠一、加藤 清、加藤 高明、玉野 直美、沼田 有二、  
村島 正章、八重野みどり

オブザーバー：須藤専務理事

### < 確 認 事 項 >

#### 1 前回(12/20)議事録の確認【資料 1】

- ・異議なく了承

### < 協 議 事 項 >

#### 1 1 月 3 0 日開催の賀詞交歓会の最終確認について【資料 2】

- ・専務理事より、会場(ナビオス)との調整結果(料理の内容等)について報告。

#### 2 平成 2 9 年度の総務企画委員会の事業計画及び予算について【資料 3】

- ・専務理事より、平成 28 年度の予算執行状況と、それを踏まえた平成 29 年度の総務企画委員会事業計画・予算案を説明。H28 年度には実施できなかったが、賛助会による講習会のほか、委員会企画の講習会も予定。なお、韓国仁川広域市建築士会から交流の申し入れがあるため、その可否やあり方を検討しつつ、最低限の対応ができるよう「国際交流検討費」を計上した旨、説明。

(質疑)

(委員)・賛助会講習会の参加費を、予算編成方針にしたがって 1,000 円としたため、H28 年度の決算ベースでは赤字事業とならずに済んだ、との説明があったが、500 円等の低額参加費を一律に否定したり、収益性を過度に重視するのはいかがなものか。

(専務理事)・公益性があるからといって、最初から赤字を見込んだ講習会事業を打ち出すのは適切とはいえないと思う。

(副会長)・他県士会の講習会では、ヘリマネ養成のような公益性のある事業でも、受講者の付加価値が増すという観点からか、高額に参加費を取っているところもある。

(委員)・H29 年度の予算案の表現では、講習会事業で黒字を出し、それを「国際交流検討費」の原資の一部にあてている、といった誤解を招きかねない。交流の是非をまったく議論していない段階では、不用意な示し方。収入の項目にも、従来の委員会事業とは別枠で、国際交流検討事業のための原資を計上すべきだ。

(専務理事)・表現方法は検討する。

#### 3 平成 29 年度の予算審議のスケジュールについて【資料 4】

- ・専務理事より、2/28、3/14 の総務企画委員会で士会全体の予算案を審議する予定と説明。

#### 4 その他

- ・なし

#### <報告事項>

##### 1 新規合格者登録時の入会案内の委員会对応結果について【資料5】

- ・12月～1月上旬に行った免許申請者への入会案内活動の感想について、意見交換。

(委員)・説明が熱心すぎると、かえって引いてしまう人も多かった。押しつけがましさを感  
じさせないセールスが必要。

(委員)・案内窓口に立ったのは2級の申請者が多い時期だったので、比較的素直に受け止  
めてくれた印象。

(委員)・士会入会のメリットが説明しきれなかった憾みあり。CPDや定期講習の認知度や関  
心が低いのも気になるところ。

- ・そんな意味で、合格者セミナーのやり方も一工夫が必要。外部講師にしゃべってもら  
うだけでなく、士会独自の内容のセミナーも考え出すべきだろう。

#### 2 その他

- ・なし

#### <その他>

##### 1 次回の委員会について

平成29年2月28日(火) 18:00～